

第3回富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会 議案顛末

日時:平成26年5月28日(水)
午後5時30分～午後6時15分
場所:富良野市役所 第三会議室

1. 開 会

(近内総務部長)

2. 座長あいさつ

(木村座長あいさつ)

3. 議 題

(1) パブリック・コメントの実施状況について

- ①募集期間 平成26年5月1日(木)～20日(火)
- ②公表場所 市役所1階行政情報コーナー、山部・東山支所、文化会館、市立図書館
担当窓口(企画振興課)、ホームページ、広報ふらの5月号
- ③提出方法 持参提出、郵送、ファックス、電子メール、録音テープ
- ④提出件数 0件

《質疑・意見なし》

(2) 富良野地区定住自立圏共生ビジョン(案)について

=資料1=

=資料2=

○質疑応答

(委員)

P19「地域センター病院の充実」に医師派遣とあるが中富良野町にも派遣してもらうことは可能か。

(事務局)

富良野協会病院も医師が不足しており、現実的には厳しいと思われる。

(委員)

P33「外国人観光客の誘致・宣伝」の効果はオセアニア圏が追加されたが、事業内容には追加しなくてもいいのか。

(事務局)

予算上はアジア圏に対応する職員のみ配置となっているため。

《その他、質疑・意見なし》

4. その他

○今後の動き等について

- ・共生ビジョンは、富良野市で策定手続き後、総務省・北海道・構成町村へ送付。
- ・共生ビジョンの変更や新たに協定を締結した場合、懇談会を開催。
- ・共生ビジョンに変更がない場合も進捗状況や実績などを懇談会にて報告。
- ・今回の委員任期は平成27年3月31日までとなり、平成27年度以降の委員選出は、各関係団体・構成町村と協議。

○各委員から一言

(委員)

- ・座長の進行が素晴らしく、大変参考になった。
- ・認知症の関係が検討されることになり良かった。

(委員)

- ・広域に色々なジャンルがあり、勉強になった。
- ・現状を再確認され、今後、有効活用されることが大事。

(委員)

- ・知らないことを知ることができた。
- ・意見に対する真摯な回答に感謝。
- ・情報交換だけでなく、実現することが大事。

(委員)

- ・改めて色々知ることができた。

(委員)

- ・大変勉強なると同時に自身にも活かしていきたい。

(委員)

- ・人口の減少、一次産業が衰退する中、連携は重要。
- ・大きな目標を持って取り組んでいかななくてはならない。
- ・質も大事だが、量を増やしていくことも大事。

(委員)

- ・圏域が連携することは大事。
- ・実行して地域に役立ててほしい。

(委員)

- ・今後、ビジョンをきちんとマネジメントすることが必要。
- ・若い世代の意識を高められるよう伝えていってほしい。

(委員)

- ・いかに実現していくかが課題。
- ・魅力を構築し、人口が増える取り組みが必要。
- ・検討課題をできるだけビジョンに反映していってほしい。

5. 閉 会

(近内総務部長)

- ・富良野市として、委員にお礼。